

物流系派遣を分社化

ライク 倉庫中心に全国展開

ライク（東京都表の物流系ブルーカライクワークス(同谷区)は、子会社のライク職種の派遣に特を設立した。アパレルライクスタッフに化したファクトリーなどのEC企業のグループ内に設けて倉庫を中心とした倉庫作業員などし、6月から新たに展開する。

「物流企業からの派遣の需要は右肩上がり成長を続けている」と話している。ライクは、ライクスタッフ、ライク東京本社営業部の部長代理を務める



宮郷氏

「物流企業からの派遣の需要は右肩上がり成長を続けている」と話している。ライクは、ライクスタッフ、ライク東京本社営業部の部長代理を務める

同社だが、「ネット通販などが拡大したこの数年で、物流企業からの依頼も格段に増え、さらに強化を図るべく、カンパニー化に至った」と経緯を説明する。「倉庫の新規立ち上げ時には数百人規模で募集をかける」。

「ライクは、10代から7代まで約30,000〜40,000名が登録しているという。派遣という外部の視点を通じて、働きやすい職場の環境づくりのお手伝いができれば」と未来を見据え、熱く語った。

(高橋 領子)

運転者派遣も視野に入れる

「採用費や人件費が高騰しており、自社で雇うよりドライバーコストが抑えられる派遣の需要が物流業界でも高まっている」と指摘。「派遣スタッフとは登録時に対面で面接を行い、その際に担当した社員が派遣スタッフの担当としてサポートするのが当社の特徴。一気通貫で派遣スタッフに同じ社員が寄り添うため、仕事の要望や悩みなども相談しやすい」と話す。

「現在は、大規模な物流センターへの100人規模の派遣